

「第 14 回 西宮市都市交通会議 地域公共交通分科会」会議録

日 時：令和元年 5 月 20 日(月) 14：30～15：15

場 所：西宮市民会館 4 階 中会議室 401

議 題：

1. 開会

2. 議事

議案第 1 号 生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について

3. 閉会

○委員名簿

役職名	氏 名	所 属 名	代理出席者
分科会長	松村 暢彦	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授	
委員	柴原 祐子	公募委員	
	中尾 繁子	公募委員	
	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	欠席
	土井 勉	一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長	
	義浦 慶子	有識者（コンサルタント）	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部 部長	営業計画課長 田中 祥敬
	野口 一行	阪神バス株式会社 取締役 経営企画部 部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	
	高野 重則	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	事務局長 宮川 佳己
	中澤 秀明	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	欠席
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	
	藤井 久暢	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 計画課 課長	
	北条 達也	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課 課長	欠席
	向井 宣彦	西宮市 土木局 道路部 部長	
	細川 徹	兵庫県西宮警察署 交通第一課 課長	
	中川 清澄	兵庫県甲子園警察署 交通課 課長	欠席
	岩野 住之	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	企画調整官 喜多 信夫
藤原 信一	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 課長		
芦田 涉	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）		
豆成 一郎	西宮市 都市局 都市計画部 部長		

議事内容

(1) 協議事項

・議案第1号 生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について

事務局より生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について説明。

(分科会長) 本日は「ぐるっと生瀬」運行協議会の方々に来ていただいていますので、事務局の説明について、追加事項等があれば伺いたいと思います。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

本格運行から4年目に入り、増便と乗車券販売場の設置などサービス向上に向けて、取り組んでいます。この取り組みで収支率は若干落ちてきていますが、増便したので、利用者を10名、20名、30名と増やしていきながら、当初目指した100%に近づけていきたいと思っています。地域の皆さんから「バスに合わせ規則正しい生活ができるようになった」や「外出が楽しくなり、近隣のみならず地域全体の友達も増えてきた」との意見をお聞きしますと、「ぐるっと生瀬」は単に交通不便の解消だけではなく、健康の増進や生きがいの創出の面にも貢献できているのではないかと思います。また、「ぐるっと生瀬」が1つの決め手となり転居してきたという若い人もおられ、非常にありがたいことだと思っています。

生瀬全体の活性化につながるようにもこの事業を進めていかないといけないなと思っています。

(分科会長) 非常にすばらしい効果が出ていると思います。

(委員) これは地域公共交通確保維持事業の補助を受けるための計画書で、これを作るのは大変だと思います。先ほどの説明では、市は運行経費から収入と国庫補助金を差し引いた金額を補助しており、3年間はほとんど補助していないとのことでした。補助事業についてどう考えておられるか教えていただけますか。

(事務局) 市もコミュニティ交通の収支比率等が見えないながらも「ぐるっと生瀬」を支援できるように補助制度を設けさせていただいています。実際、運行を開始しますと、地元の方の頑張りによって、運行経費についてはほとんど補助していない状況です。

生瀬の成功事例を見て、他の地区でもコミュニティ交通導入に向けて検討を始められています。生瀬と同じようにうまくいけばいいのですが、他の地区では運行実績がどうなるか見えていないということがあるので、市としては補助制度を維持し、他の地区も支援していきたいと考えています。

(分科会長) 生瀬地区の良い事例を参考に他の地域でコミュニティ交通を行っていく際は、恐らくこのような補助事業がないと回らないところもあるかもしれないですね。今のうちにそういうことも考えられているとお伺いして非常に安心しました。

(委員) 事業目標で4年目の目標値を110人、その後120人、130人と輸送人員を増やしていく目標設定されていますが、これは利便性も上がり、みんなに周知されて、自然に増えていくと考えているのか、毎年新たな取組みをされる予定なのか、お伺いしたいです。

(事務局) 収支比率が100%近くになる輸送人員が1日当たり130人以上となっており、6年目の目標値に設定しております。現在行っている利用促進活動を行いながら、徐々に増やしていく目標としております。

(委員) 「ぐるっと生瀬」は、全長何kmありますか。料金はいくらでしょうか。

(事務局) 「ぐるっと生瀬」は、4つの地区をそれぞれ回るようになっており、宝塚駅を起終点として、まず生瀬高台地区を回って宝塚駅に戻ってきます。その次に、宝生ヶ丘地区を回って宝塚駅に、次に青葉台地区を回ってまた宝塚駅に、最後に花の峯地区を回って宝塚駅に戻ってきます。それぞれの経路によって延長は異なり、最短は宝生ヶ丘ルートで5.6km、最長は花の峯ルートで8.9kmです。料金は大人300円、小人200円です。小学生未満は無料です。

(分科会長) 新しく公募委員になられた方には、最初に事務局から「ぐるっと生瀬」についての説明をしておくべきでしたね。

(委員) インターネットで見ることのできる市政情報番組で「ぐるっと生瀬」の方がコミュニティ交通についてわかりやすく説明されているので、是非ご覧になってみてください。

(分科会長) コミュニティ交通は自分がお世話するときもあれば、されるときもあるということが基本のルールかなと思います。サービスレベルが上がってくると、地域の方々にとってサービスを受けることが当たり前のようになることがあります。サービスの対価を求められることや要望が増え、苦勞されていないでしょうか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

運行協議会のスタッフは自分のやりがいを求めて活動しており、その対価として皆さんからありがとうと感謝してもらっています。同時に、皆さんには私たちと同じように汗をかいてもらいたいということで、相場の運賃より高い300円を設定しています。これは、市が補助できないような財政状況になったとしても、バスの運行を中断したり縮小したりすることがないような形にできたらいいなという思いで設定しました。ゆるキャラも皆さんに支えていただいております。「ぐるっと生瀬」を地域の重要な位置づけに考えていただいているように感じています。

(分科会長) 非常にうまくいっていることをお伺いできたので非常に安心しました。

それでは、議案第1号、生瀬地区における地域内フィーダー系統確保維持計画について、承認いただくということでよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長) 議案第1号は原案のとおり承認されました。

なお、国庫補助金を申請する際の手続等につきましては、当会議の承認を受けまして作業を進めていくことになります。今後、事務局と事業者で関係書類などを作成していくということで、事務局に一任ということによろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長) 議案第1号及びその手続等につきまして、承認されました。